

男女共同参画関連科目の開講状況(2019年度)

◆ 男女共同参画を理解するために

(女性学・ジェンダー論, 歴史・文学などの視点からの科目)

No	開講部局名	対象年次	開設期	曜日 時限	開講科目名	講義コード	授業の目標・概要等	主担当 教員名	科目区分
1	教養教育	1年次	2ターム	月 1-4	平和を考える	11002001	「平和」の諸相に関する講義・講演、さらに学生主体のPBLを通じて、テーマを身近な問題として理解できることを目指す。	中山 富廣	平和科目
2	教養教育	1年次	2ターム	月 1-4	平和と人権ーグローバル化とジェンダー視点	11006001	この講義では、「人権」を通して平和について考えます。平和を脅かすものは、戦争や争いにどまらず、様々な形態の暴力や差別、貧困や飢餓、さらには経済的搾取等が考えられます。国際化や情報化の流れの中で、経済・文化などのあらゆる分野におけるグローバル化が進み、特に社会的弱者の人権が侵害されています。講義では、現実社会において平和が脅かされている現状を知り、その原因を一緒に考えていきたいと思います。問題の所在をわかりやすくするために、DVD等の視聴覚教材を積極的に活用します。受講生一人ひとりが、どのように平和を創っていくかを考えるきっかけとなるような授業展開を目指します。	森 玲子	平和科目
3	教養教育	1年次	3ターム	木 5-8	現代社会学B	62161002	「社会」はつかみ所のない存在です。時に社会は、私たちの前に対峙し、様々な矛盾や困難を与えますが、そればかりではなく、この世に生きる意味や希望を指し示し、数え切れない便利な仕組みを提供してくれます。「社会」とはそもそも何なのでしょか。 通常、私たちは、自らの経験や常識的な見解(たとえば、高校の社会学の知識やテレビ、インターネットの情報など)に基づいて、この「社会」を理解しようとしています。社会学は、個々人がイメージする社会像や人々の身近に張り付く社会を相対化し、社会科学的な分析方法を提供する学問です。講義では、社会学特有の諸概念(関係・集団・行為・規範・逸脱・社会化等)と、社会学を創始した学者の研究(富の蓄積や自殺の研究)、最も基礎的なテーマ(家族、地域)及び応用的ないくつかのテーマ(環境、医療、福祉)を通して、身近にありながら曖昧な所在でもある「社会」に対する専門的思考方法について解説します。	福田 恵	領域科目
4	教養教育	1年次	1ターム	水 5-8	ジェンダーと社会	65210001	現在の社会におけるジェンダーをめぐる諸問題について理解し、なぜ男女共同参画が必要なのか、どうすれば男女共同参画社会が実現できるのかについて考える。男女共同参画の必要性を理解すると共に、男女共同参画推進のための各種制度に関する基本的な知識を習得し、現状の問題点について考えることができるようになることを目指す。なお、授業は複数の講師によるオムニバス形式で行う。	石田 洋子	社会連携科目
5	総合科学部	2年次	1ターム	水 5-6	ジェンダー学 I	AQS50102	身近な問題をとりあげ、それらをジェンダーの視点から分析することを学ぶ。	大池 真知子	専門教育科目
6	総合科学部	2年次	2ターム	水 5-6	ジェンダー学 II	AQS50202	身近な問題をとりあげ、それらをジェンダーの視点から分析することを学ぶ。	大池 真知子	専門教育科目
7	総合科学部	2年次	2ターム	金 1-4	マイノリティ社会文化論	AHH36001	現代社会では、グローバル化による多様化に対する許容を特徴とする一方、格差の広がりが、反動としての差別と排除が跋扈し、これまで以上に「マイノリティ」の生き方が注目を集めている。われわれは、同じ時代を生きる(当事者)として、彼らにどのように向き合い、彼らの生きる力から何を学ぶべきか。本演習では、講義部分については必要最小限の留め、その講義とリーディングから得た概念や理論的枠組みをツールとしたディスカッション、個人やグループでのプロジェクトを通してマイノリティについて、自ら発意、理解、体得することに重きを置く。	辻 輝之	専門教育科目
8	総合科学部	2年次	4ターム	金 5-8	マイノリティ社会文化論演習	AHH37001	本演習は、「マイノリティ社会文化論」と同様、マイノリティとして生きる、また、生きることを強制された人々について、「関与する学び(Engaged Learning)」の場を提供することを目的とする。本演習では、マイノリティについて自ら発意、体得するという目標に向かってさらに歩を進めるため、学生は、これまで講義やディスカッションを通じて修得した知識を基礎として、フィールドワークのプロジェクトを企画、実施して、その結果をレポートと口頭発表によって共有・還元する。	辻 輝之	専門教育科目
9	総合科学部	3年次	3ターム	月 5-8	差異の人類学演習	ASF32001	日本、オセアニア、東南アジア、ヨーロッパ等の事例を参照しながら、「ジェンダーは構築される」とはどのようなことなのかを理解することを目標とする。 第1,2回 イントロダクション 第3,4回 男性と女性を分ける社会(1),(2) 第5,6回 男女をセットとする社会(1),(2) 第7,8回 父としての男性・母としての女性(1),(2) 第9,10回 老いとジェンダー(1),(2) 第11,12回 第三の性(1),(2) 第13,14回 国家とジェンダー(1),(2) 第15回 まとめとレポートの提出	新本 万里子	専門教育科目
10	総合科学部	2年次 (後期)	セメスター	金 1-2	社会学方法論	ASS08001	社会学の基礎文献を具体的に検討・解説し、社会学とはどのような視点と概念をもった学問なのかを聴講者に理解させることを目標とします。	材木 和雄	専門教育科目

11	総合科学部	3年次	1ターム	金 5-8	社会学方法論演習	ASS22001	社会学とはどのような学問なのか。興味はあるが、どのように勉強したらよいのか分からないという人が多いと思います。この授業はそのような人の関心に応えるために開講します。 本年はジグムント・バウマンの『社会学の考え方』(Zygmunt Bauman, Thinking Sociologically, 1990)をテキストにして、社会学の方法を学びます。 ジグムント・バウマン(Zygmunt Bauman, 1925-2015)は、ポーランド出身のイギリスの社会学者。イギリス・リーズ大学およびワルシャワ大学名誉教授。「立法者と解釈者」、「造園管理人と猟場番人」、「固定化と液化化」といったメタファー(修辞技法)を巧みに用いて今日のポストモダン社会の考察を深めた研究者として知られています。 今年度のテキスト『社会学の考え方』は現代社会の成り立ち、とくに私たちが日々生きる日常生活がどのように構成されているのかを明らかにしようとした作品です。この著作を読むことにより、受講生の皆さんは社会学の基礎的な概念を学習すると共に、現代社会のとらえ方についての最前線の議論を知ることができると思います	材木 和雄	専門教育科目
12	教育学部	2年次	Semester ター (後期)	火 5-6	社会教育学演習	CC513404	文献に基づく発表・討論を通じて、社会教育に関する基礎知識への理解を深めることを目指します。	久井 英輔	専門教育科目
13	教育学部	2年次	2ターム	金 5-8	社会・集団・家族心理学	CC521403	以下の3つを習得することをめざす。 1) 対人関係並びに集団における人の意識及び行動についての心の過程を説明できる。 2) 人の態度及び行動についてさまざまな理論を用いて説明できる。 3) 家族、集団及び文化が個人に及ぼす影響について概説できる。	森永 康子	専門教育科目
14	大学院共通教育(博士課程前期)	1年次	3ターム	水 9-10	SDGsへの学問的アプローチB	8E000201	国際目標SDGsと広島大学長期ビジョンSplendor Plan 2017の理念を受けて、学部教養科目などと共に広島型教養教育の一環として、大学院博士課程前期共通プログラムを創設する。SDGsは持続可能性を核に据えた私たちの時代・社会の課題である。しかしこの課題は単独での問題解決にとどまらず、分野間の連続性や時間的連続性が重要である。さらに、その解決には、援助国、被援助国のみならず、地方自治体、民間企業、市民社会が協働して取り組む新しい社会のあり方が求められている。本SDGsへの学問的アプローチBでは、環境、社会、ガバナンスを中心に取り組む。SDGsへの学問的アプローチAと合わせて受講することが推奨される。	片柳 真理	大学院共通科目
15	大学院共通教育(博士課程前期)	1年次	集中	集中	ダイバーシティの理解	8E000551	教育機関や企業組織における、ジェンダーとセクシュアリティや文化背景等の面でのダイバーシティ(多様性)に対する理解を深め、そこで生じる葛藤や取り組みについて体験的に学ぶことで、ダイバーシティを包摂する社会の在り方についてのビジョンを持つ。	北梶 陽子	大学院共通科目
16	総合科学研究科博士課程前期	1年次	3ターム	金 5-8	マイノリティ思想表象論	AZ2G1201	マイノリティ研究は、学際的専門分野であり、自らの専門性を足場としつつ、他の専門領域による事例研究や理論的議論の成果を積極的に取り入れたアプローチが求められる。本演習において、学生は幅広い分野の研究成果を批判的に検討しつつ、自らの専門性の重要性を再認識するだけでなく、他の分野と相対化して独自のアプローチの確立を目指す。前半は、リーディングとそれに基づくディスカッションから着想を得て、プロジェクトのプロポーザルを作成し、後半はプロジェクトを実施して、その成果をレポートと口頭発表によって共有・還元する。限られた時間的制約の中で多くの英語文献に目を通すことで、大学院生として求められる読解力を身につけることも副次的な目標とする。	辻 輝之	専門的教育科目
17	教育学研究科博士課程前期	1年次	3ターム	月 1-4	家族関係・集団・地域社会における心理支援に関する理論と実践	NMR20345	授業の到達目標: 1. 家族関係等、集団の関係性に焦点を当てた心理支援の理論と方法を概説できる。 2. 地域社会や集団・組織に働きかける心理学的援助に関する理論と方法について概説できる。 3. 上記の1,2を、心理に関する相談、助言、指導等への応用について概説できる。 授業の概要: 上記の1,2,3について、理論の理解とともに、実践的な能力が身に付けられるように講義する。	岡本 祐子	専門的教育科目